



TRANSCENDENT

アヴァロンの中核を担うスピーカーシステム

アヴァロンは1986年の設立以来一貫して「音楽そのものを肌で感じ取れるスピーカー」を求めて設計してまいりました。そのゴールを達成するためには、スピーカー設計に取り入れた数多くの最先端技術に加えてデザイナーの感性、音楽に向けての愛情と理解、そして心からの感謝と畏敬の念が求められます。「人間が音楽をどう感じるか、が一番大切なこと、多くのリスナーの方々がアヴァロンの作品を評価してくださり、サポートしてくだされば非常に嬉しく、光榮に思います。」と設計者、ニール パテルは言います。若い時からフィラデルフィアシンフォニーの熱烈な支持者として感性を磨き、一方、ジャズや現代的なポップミュージックにも敬意と愛情を示すニールだからこそ、音楽を愛するリスナーはもとより、ベーシストやビッグバンドオーケストラ、そしてクラシック放送局のモニターとして評価を受けているスピーカーをデザインすることが出来たのでしょう。

アヴァロンの飛躍

アヴァロンは90年代中期にリファレンスレコーディングとモニタースピーカーを共同開発しました。今あるキャビネットの原型はその時に出来上がったかたちで、リファレンスレコーディング社がクロスオーバーネットワーク(アクティブ)を担当しました。その音質を単体スピーカーとして完成させるという目標で「アイトロン」が生まれ、幾多の改良を重ねて現在に至っています。また、「オザイラス」、「センチネル」という大型スピーカーの設計、製作から多くを学び取り、そのエッセンスを「アイシス」に注入、厳しいリスナーから熱狂的な支持をいただいています。

大型スピーカーの技術を惜みなく注入したミドルサイズ

「トランセンデント」は「アイシス」、「タイム」の開発時に培われたアヴァロ

ン独自の進歩的技術を総合的に取り入れて設計いたしました。今まで、コンパクトシステムにはフラッグシップ機に取り入れた洗練度の高い最新のダイナミックコントロールテクノロジーは応用されたことはありませんでした。「トランセンデント」は、スムーズなエネルギーバランスが巧みに構築されているために、実にはのびのびとしていますし、帯域全体にわたって均一なエネルギーバランスを得ています。そのために録音時の演奏に忠実な空間的情景をリスナーにお届け出来るのです。しかも音楽の風景を描くスピーカーがほどよいサイズに仕上がりました。

追い込むほどに期待に応える、聴き手に寄り添うスピーカー

優れた能力を持つサラブレッドを調教して美しい競走馬に仕上げるには愛情、忍耐、努力が必要です。同じように、スピーカーもそれをお使いになるリスナーがその能力を最大限に引き出すように、調整し、追い込んで仕上げていくものでしょう。タンノイの類い希な使い手として有名な五味康氏が「音を聴けばその人間が理解できる」と表現したように、オーディオに情熱を傾け、円熟した審美眼をお持ちのリスナーの方々は、今こそスピーカーを調教すべき時ではないでしょうか。

「トランセンデント」はパノラミックなサウンドステージにおいても焦点がとてものはっきりしています。再生音はダイナミックレンジが上下に大きく伸び、比較的小型のシステムではあきらめざるを得なかった圧倒的なグラデーション、音の緻密にしてスムーズな階調性の表現をもって音楽に命を与えます。「アセント」から引き継いだアヴァロンのシンボリックな美的特徴ともいわれる透明度とソリッドな低域を圧倒的なダイナミックコントラストをもって再現します。生演奏に迫る忠実でリアルなダイナミックさとハーモニックコントラストをじつに自然にリスニングルームに再現できることが、このシステムの美点です。誇張や虚実的な「くせ」を持たずに、トランセンデントはライブ演奏の細やかさ、そして華やかさを兼ね備えた音楽情景を皆様にお届けします。

Specifications

ネオジウムコーン型セラミックツイーター	1	仕上げ	スタンダードウッド:メイプル チェリー ウォルナット
18cmノーメクス・ケブラーコーンウーファー	2		プレミアムウッド:ウォルナット パール マートル クラスタード パール *表写真はウォルナットパール(プレミアムウッド仕上げ)
能率	88dB	推奨アンプ出力	50 - 500W
公称インピーダンス	4Ω	外寸	25(W) × 105(H) × 37(D)cm
周波数帯域	26Hz - 25k Hz	質量	44kg

使用、規格、外観などは改善のため予告なく変更することがあります。また、図版の色彩は印刷インキや撮影条件などにより、実際の色と異なる場合がございます。天然木を使用していますので、個体によって木目が異なります。予めご了承ください。

